

各 位

会 社 名 株式会社SRAホールディングス  
 代 表 者 名 代表取締役社長 鹿 島 亨  
 (コード: 3817、東証プライム)  
 問 合 せ 先 執 行 役 員 松 野 善 方  
 管 理 本 部 長  
 (TEL 03-5979-2666)

## 2023年3月期通期連結業績予想と実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2022年5月12日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の連結通期業績予想と実績値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年3月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2022年4月1日~2023年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	42,500	5,200	5,200	3,300	267.50
実 績 値(B)	42,864	6,004	7,201	879	71.13
増 減 額 (B-A)	364	804	2,001	△2,421	—
増 減 率 (%)	0.9%	15.5%	38.5%	△73.4%	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	40,203	5,440	6,463	3,577	289.96

#### 2. 差異の理由

当連結会計年度は、本業が好調に推移したことにより、「売上高」及び「営業利益」については、前年度実績及び業績予想値を上回る結果となりました。

また、「経常利益」は「為替差益」1,226百万円の発生等により、前年度実績及び業績予想値を大きく上回る結果となりました。

なお、クラウドを始めとした高収益ビジネスへのシフトを進めると同時に、既存業務の収益性の向上に努めた結果、「営業利益」及び「経常利益」については、過去最高となりました。

一方、「親会社株主に帰属する当期純利益」は下記「3.特別損失の計上について」に記載のとおり、前年度実績及び業績予想値を大幅に下回る結果となりました。

#### 3.特別損失の計上について

コロナ禍による中国経済の低迷等により業績が悪化した持分法適用関連会社の債権につき、保守的に貸倒引当金繰入額 2,300百万円を計上しました。また、同社との資本関係解消に伴う株式の売却により、投資有価証券売却損 435百万円を計上しました。

なお、当社の子会社が保有する投資有価証券のうち2023年3月期末において、時価が簿価と比較して著しく下落したものが発生したため、投資有価証券評価損 1,517百万円を計上しました。

その結果、特別損失は4,255百万円となりました。

#### 4.業績に与える影響

上記特別損失につきましては、本日公表の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以 上